



しゅんの女ひと

120



動物園に来園していた子供達と記念撮影。人気者です！



製作した数はおよそ60体！

発表の場を求めて

小さな頃大好きだった着ぐるみのキャラクターたち。今、おびひろ動物園ではそんな着ぐるみ姿で来園者を楽しませる活動をしている女性が話題となっています。自ら着ぐるみを製作し、中に入ってボランティア活動を行う谷口彩香さんに登場していただきました。

自作の着ぐるみを制作する

谷口 彩香さん(17)

【お問い合わせ】

<http://garm.okitsune.com/>

9月20日(日)着ぐるみイベント

【問】おびひろ動物園
帯広市字緑ヶ丘2
TEL.0155-24-2437

子供にも大人にも人気の姿とは

その姿で一歩外に出るとたちまち人だかりが。全身を覆うふさふさの毛と鋭い牙、大きな爪の生えた手足……。そんな着ぐるみの中から現れたのは小柄な女の子でした。

谷口さんの着ぐるみ製作は小学校6年生のころ、ハロウインのパーティーがあり、そのときにかぶりものを作ったことに始まります。当時は手、尻尾、頭といったパーツごとでしたが、だんだんと全身で着られるようなものを作るようになったと言います。動物が好きで製作するキャラクターはほとんどがオリジナルの動物。型紙を取り、一つひとつミシンをかけていきます。フェイクファーにアクリル絵の具を筆で何度も重ね、動物の毛色を表現します。目、舌や牙、爪のリアルさはもちろん、口まできちんと開閉する本格派。製作には今までの最短で3日〜精巧なものになると2ヶ月ほどもかかるそうです。「将来はこれで食べていけるように技術を磨きたいです」と笑顔で話してくれました。



頭部の制作中。自宅の作業場には道具がたくさん。保管している材料も一括で注文するため相当な量だそう。

着ぐるみが繋ぐ輪、全国に

もっとみんなに身近に感じてもらいたい。そんな想いから実際に動物園で着ぐるみを着て、子供たちと触れ合い、素直な感想をもらっては着ぐるみ作りを活かしていくことが目下の課題。「出来上がりには永遠に満足はしないと思います」。谷口さんの着ぐるみ製作はほとんどが独学。ゆえにはじめは形にもならなかったとか。当時は珍しさからか、なかなか評価してもらえず、仲間もいませんでした。しかし今は、インターネットを通じて全国、世界中の仲間と繋がれます。ホームページを通じて製作代行も行っており、9月20日には、おびひろ動物園で全国から着ぐるみ製作の愛好家が集まるイベントが行われ、着ぐるみ6体の集合を予定しています。

これからも様々なイベントに登場予定の谷口さん。どこかで見かけたら、ぜひ声をかけてみては？

(取材・文/中川このみ 撮影・村上真美)